

January 2026

No.
81

マチの未来をともに考える 議会だより にしわが

ナジョスンベ



特集

総務教民常任委員会所管事務調査

気になる介護事業2

定例会報告....6

予補正予算 条例改正 人事 発議
未来をつくる提案・議論《一般質問》

皆さんの声を聞かせてください
議会報告会のお知らせ
議会広報モニター募集のお知らせ14

産業建設常任委員会 所管事務調査 報告
町内上下水道施設を視察....15

表紙モデル：高橋定雄さん 写真を通じて西和賀の魅力発信 19ページにインタビュー

気になる介護事業



町民の多くの方々が「当事者として」「家族として」「職員として」「さまざまな形で」関わっている介護事業。いまや町のインフラの一つと言っても過言ではありません。町の人たちが安心して利用できる事業になっているのだろうか。そうした問題意識から、議会総務教民常任委員会が*所管事務調査を行うことになりました。その途中経過として見えてきたことをお知らせします。

調査の方法

- ・介護事業についての学習（町の取り組み、制度など）
詳しくは次ページ
- ・町内の介護事業所を運営する7法人にアンケート調査
- ・介護事業所各法人への施設訪問と聞き取り調査
詳しくは4ページより
- ・有識者との意見交換（町の介護の課題、今後の見通し）
詳しくは次ページ

今後は…

- ・調査のまとめ
- ・議長への報告、議会への報告
- ・町への提言

* 所管事務調査
常任委員会が自主的にテーマを設定し、それぞれの部門に属する事務(所管)に関して調査を行うこと

介護保険事業計画に基づき推進

介護保険制度の町の取り組み

必要な介護を受けられる町に

介護保険制度は創設以来25年を経過しています。全国的に見れば、65歳以上被保険者数が1.7倍、サービス利用者数は3.6倍に増加しており、高齢者の介護になくてはならないものとして定着・発展してきました。一方、町では65歳以上の第1号被保険者、要介護認定者数ともに平成29年からピークを過ぎ、令和4年以降減少傾向となっています。町では他市町村と比べて施設が充実しており、決して安くない介護保険料となっていますが、その分しっかり介護を受けられる町にしていきたいと考えています。

高齢化率が増す中で



にった ゆかり
前健康福祉課長 新田由香里さん

町全体の人口が減少する中、高齢化率は増していることが課題です。会議や懇談等様々な機会に介護事業者のみなさんから事業についての課題をうかがっています。今後の事業の方向性や、人材確保などの面で困難を抱えていることを認識しています。議会のみなさんの施設訪問等で見えてくるさまざまな課題に対して私たちも一緒に考えていきたいと思っています。

※学習会の中での説明を抜粋して要約しました

在宅の高齢者を支える

「2040年が高齢者のピーク」ということで全国的に問題視されていますが、西和賀をはじめとする中山間部ではそれよりも早く人口減少と高齢化が進み、国の制度を待ってられない状況です。介護保険制度は在宅サービスを充実させる目的で始まりましたが、近年、在宅福祉サービス事業所として継続が困難で撤退する動きが全国で増えています。

重層的なサービスの構築

そうしたことを考えた時、西和賀では「全国一律の枠組み」から「地域性を踏まえた柔軟な制度運用」を取り入れる必要があるのではないかと感じています。

西和賀の地域包括支援センターは非常によく機能しています。これを利用してさらにヘルパー・民生委員・保健師など様々な職種の方が連携・情報共有することで、多面的に個人・地域を支える仕組み作りになると思います。

西和賀町社会福祉協議会
地域福祉課長 廣田 宏さん



地域に即したサービスを

有識者との意見交換

事業所のみなさん 介護事業への想い

地域の人々とできるだけふれ合いを増やしたいと思っています

町の介護保険料は県下一高い…それだけに町民のみなさんが必要なサービスをきちんと選択して受けられるようにしたいです。

施設には様々な種類がありますが、それぞれの役割と良さを発揮してニーズに応えたいです。

利用者さんのニーズにできるだけ応えるようにしています。できないことはきちんと説明して理解してもらっています。



他にこんな意見もでていました

- 外国人材の方たちには生活の支援が必要。
- 施設老朽化に対しての補助金があれば助かる。直接支援でなくともこんな補助金があるという紹介があるとよい。
- 従業員が入居できる住居の整備が必要では。
- 町外から通っている従業員の家賃補助があると助かる。
- 町の「介護の魅力発見事業」は評価している。継続してほしい。
- 若い人たちが西和賀に戻ってこられるような町の魅力発信、イメージアップが必要ではないか。移住者増にもつながる。
- 町全体の中で介護も一つの産業の一つと捉えて発展させることが必要ではないか。
- 町の介護保険計画の中での介護量の見通し、サービスの必要量を提示してもらおうとやりやすくなる。
- 介護について今後のビジョンを町と一緒に考えていきたい。



に思います。
―介護度が低くても宿泊できるサービスが必要だと思っています。
問 特別養護老人ホーム（特養）と介護老人保健施設（老健）はどんなところが違うのですか？
―老健はリハビリを行って、自宅に帰ることを目的としています。医師がいて医療面で安心感があります。一方特養は生活の場なので、生活全般の支援をします。ご家族と相談の上ですが、看取りを行うこともあります。
問 利用者が少なくなってきたらどう聞きますか？待ち状況はどうですか？
―待機者が少なくなっていることを感じます。利用者がいなくなると、運営

を続けられるかという不安もあります。
問 町民は比較的施設入居への抵抗感が少ないように思いますが、在宅介護とのバランスをどう見えていますか？
―利用者さんの姿を見ると、やはり自宅が一番なんだなと感じることが多いです。ヘルパーだけでなく地域で見守り、それぞれのニーズに合わせた支援をする必要もあるのではないのでしょうか。
問 利用者スタッフの関係性はどうか？
―コミュニケーションはかなり取れていると思います。要望にはできるだけ合わせようと努力しています。



問 介護人材が不足していると聞きます。状況はどうですか？
―特に夜勤をしてくれる方、看護職の方がなかなか見つからず苦労しています。
―長く勤めてくださっている方もいる一方で、一定割合入れ替わりがあり、人材確保には苦労しています。
問 介護人材確保のために工夫していることはありますか？
―職員が定着するように待遇改善に努めています。
―子育て支援を充実し、保育のための施設や環境をニーズに合ったものにする必要があると思います。

―給与面の改善をしたいが、財政的に厳しいものがあります。
問 外国人材の方たちを受け入れてみてどうですか？
―とてもまじめに働いてくださり、助かっています。仕事も熱心に覚えてくれます。
―住居の確保や定着の難しさに課題を感じています。
問 物価高騰の影響はありますか？
―とてもある。すべてのものが高くなっている。米代が高くなり、食事に影響しないように工夫していますが、かなり厳しい状況です。

問 介護ロボット等の導入のニーズはありますか？
―入浴ロボットなど導入を検討したが、利用者一人一人に合わせた動きをすることが難しく、導入には至っていません。
―ベッド上の利用者の足が床についていたことを知らせるセンサーや、バイタル検知の機材はあったらいいと思っています。
―会話型ロボットに関心があります。
問 今後検討しているサービスはありますか？
―外出支援はニーズがあるのではと考えています。
―震災時には避難所の役割もあるように



介護事業所を運営する みなさんと懇談しました

実際に事業所を運営しているみなさんは、どんなことを感じたり、どんなことに困ったりしているのか。総務教民常任委員会として、介護事業所を運営する7法人を訪問し、お話を伺いました。ここではそれぞれの事業所で伺ったお話をまとめてお知らせします。お忙しい中時間を割いて調査に協力してくださった皆さんにこの場を借りて感謝申し上げます。

※文中の「問」は議員からの質問、答えてくださったのは事業者のみなさんです。

訪問日程

8/18	特別養護老人ホーム「ぶなの園」
8/18	介護ステーション「ゆいっこ」
8/22	西和賀町社会福祉協議会
8/26	介護老人保健施設「清水苑」
8/26	小規模多機能ホーム「雪つばきの里」
8/27	特別養護老人ホーム「光寿苑」
9/18	グループホーム「笹の木」

※訪問・懇談は各法人一事業所とさせていただきます



A 将来的な保育所の名称はどのようになるか。
Q 将来的には、認定こども園化を視野に検討している。その場合は名称変更もありうる。

3 保育所を統合
町立保育所条例の一部改正
川舟保育所と新町保育所が閉所となり令和8年4月1日からせんだん保育所に統合される。

条例改正

西和賀町選挙管理委員会委員 と同補充員の選挙結果

任期 令和7年12月22日～令和11年12月21日

1. 選挙管理委員会委員

和泉隆さん	鍵飯
高橋妙子さん	野々宿
高橋富美子さん	弁天
高橋博明さん	槻沢

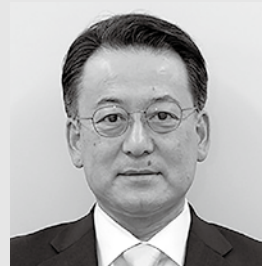
2. 選挙管理委員会委員補充員

高橋裕美さん	川舟
細川浩さん	野々宿
戸巻政美さん	大野
田村公一さん	沢中

* 補充員の役割
選挙管理委員に欠員が生じた際、または委員が職務を遂行できない場合に委員の職務を補欠・代行します。

同意 案件

副町長に 高橋光世さん



町長は刈田哲彦副町長の後任に高橋光世さん（企画財政課長）を副町長に任命する考えを示し、議会はこれに同意した。任命の理由は「町民の健康と暮らしの質を高め、基幹産業の強化を進めていくにあたり幅広い行政事務での知見を活かし町長を補佐していくことを期待するとともに、今までの経歴から町政運営にあたり力になってもらえると考え適任と判断した」とのこと。

任期は令和8年1月1日から令和11年12月31日まで

意見書

意見書の審査結果

多様な民意を切り捨てる 国会議員定数削減に反対する意見書

現政権が検討している国会議員の定数の削減は、国民の多様な民意を国会に反映させることを妨げる。選挙制度については国民的議論が欠かせない。国会でのこれまでの議論の経緯を尊重し、国会議員の定数削減は行わないことを求める。

提案者 普本 歌織 賛成者 唐仁原俊博・高橋敏樹 結果 賛成多数で採択

Q 議員定数削減ありきの法案には反対だが、小選挙区の見直しなど選挙制度見直しの議論も含めて反対するものか。

A 議員定数だけでなく、選挙制度も含め、国民的議論が必要という立場である。

補正 予算

ガバメント クラウドファンディング 子どもたちに音楽を

第17回 定例会

会期 令和7年12月
10日～12日

みんなの声



湯田小学校

後列左 伊藤野の花さん(5年生) 右 伊藤木の実さん(5年生)
前列左 高橋 琴葉さん(3年生) 右 高橋 美尋さん(3年生)

木の実さん 「楽器選びに迷った。ホルンは一人なので、本番ソロが緊張した。吹奏楽の他にもフットサルをみんなと出来たらいいなあ。」
琴葉さん 「ばばがやっていたので、参加した。来年もやって、高い音とか低い音をスラスラふけるになりたい。」
美尋さん 「楽しかった。演奏の楽しみの他に、本番前みんなで食べたサンドイッチが美味しかった。来年もぜひやりたい！」
野の花さん 「普段使わない指使いが難しかった。本番はいつもと同じ感じで出来たけど、終わった後どきどきした。来年はもっとレベルアップした曲をやりたい。」

ふるさと納税制度の中で「ガバメントクラウドファンディング」という仕組みを活用し、「西和賀キッズウィンド」というプロジェクトに寄付をいただいた。寄付額の2分の1の109万2千円を、プロジェクトの補助にあてるものである。通常のふるさと納税よりも「使い道」をプロジェクトとして具体的に提示し、その内容に共感した人から寄付を募るのが特徴で、寄付者は自分の応援したい分野を選べ、税控除も受けられる。

西和賀キッズウィンドは、町内の吹奏楽団体「山の音楽隊」が設立35周年を記念し、町の音楽文化の向上と発展に寄与する取り組みの一つとして企画したもので、町内の子どもたちに楽器を指導し、一緒にコンサートを開催した。

西和賀キッズウィンドの活動に補助
ガバメントクラウドファンディング活用支援事業
109万2千円

全国的に市街地等への熊の出没や熊による人的被害が拡大している。

有害鳥獣対策として緊急を要するため、緊急銃猟向けの備品を購入する。内容は駆除を安全に行うための熊撃退スプレー、装備等の消耗品や防護盾、デジタルトランシーバー、熊専用防除機（爆音機・付属品ソーラーシステム）バッテリー充電器、獣害駆除用ドラム缶等。

緊急銃猟に備える 有害鳥獣対策事業

302万5千円

みんなの声



統合を
チャンスに！
町立保育所統括所長
吉田 幸哉さん

町立保育所の統合に向けて、せんだん保育所の改修工事もスタートするなど、準備が本格化してきました。この統合をチャンスととらえ、西和賀だからこそできる保育を目指していきたいと考えます。環境が人を育てます。保育所周辺の自然の活用はもちろん、施設設備面で子どもたちの普段の生活に支障をきたすことがないように、改修を進めていただくことを望みます。

せんだん保育所の整備費
工事請負費
205万9千円

* ガバメントクラウドファンディング
ふるさと納税制度を活用し、地域の課題解決やプロジェクトのために寄付を募るもので、インターネット等を通じて広く不特定多数の人から寄附を募る仕組み

件名	結果
その他	
岩手中部広域行政組合規約の一部変更 当該組合でのごみ処理事業のうち、不燃ごみにかかる処理施設整備計画とその後の運用などについて、構成する3市1町（花巻市・北上市・遠野市・西和賀町）から、遠野市が参画しないことで生じる変更のため、規約の一部を改正した。	原案可決
人事	
副町長の選任	同意
選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙	選任
議員からの発議	
議会会議規則の一部を改正する規則（第1号）	原案可決
多様な民意を切り捨てる国会議員定数削減に反対する意見書（第2号）	原案可決

討論

一般会計補正予算

賛成

普本議員

子育て支援拡充は国の責任で

賛成の立場での討論。迅速に進めるべき予算が含まれており賛成するが、国の制度である子ども子育て支援金制度については、子育て支援を名目に、全世代への負担増を押し付けるものであり、容認しがたいものがある。

子育て支援を進めるためには町もこの事業を推進せざるを得ないことは理解する。しかし子育て支援については、国民負担を増やすのではなく、今ある財源の組み換え、または空前の利益を上げている大企業への応分の税負担で進めることができる。

このことについて、国に対し声を上げていく必要があることを申し述べた上で賛成。

審議の結果

第17回定例会で話し合ったこと、その結果

※ページ数が書いてあるものは
議会だより内で詳しく取り上げています

議会だよりの審議や質疑の記事は、
抜粋や要約をしています。
正確には、後日町のホームページに
公開する会議録をご覧ください。



<https://www.town.nishiwaga.lg.jp/chogikai/index.html>



件名	結果
専決処分の承認	
一般会計補正予算（第4号）	原案承認
温泉事業特別会計補正予算（第3号）	原案承認
一般会計補正予算（第5号）	原案承認
条例改正（法律・政令・省令などの改正などにあわせるもの）	
印鑑条例の一部改正	原案可決
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	原案可決
会計年度任用職員の給与などに関する条例の一部改正	原案可決
特別職の職員の給与並びに旅費および費用弁償に関する条例の一部改正	原案可決
議会議員の議員報酬及び費用弁償などに関する条例の一部改正	原案可決
上下水道事業の企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	原案可決
過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の廃止	原案可決
条例改正（町独自のもの）	
町立保育所条例の一部改正	原案可決
令和7年度 補正予算	
一般会計補正予算（第6号）	原案可決
国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
町立西和賀さわうち病院事業会計補正予算（第3号）	原案可決
水道事業会計補正予算（第4号）	原案可決
下水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決

賛否の分かれた案件

○賛成 ×反対

案件	北村 嗣雄	真嶋 実	普本 歌織	中村 ひとみ	高橋 敏樹	唐仁 原俊博	高橋 義彦	高橋 宏	高橋 到	柳沢 安雄	結果
発議 第2号	国会議員定数削減に反対する意見書										可決
採決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	

※議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。
※高橋雅一議長は欠席のため本定例会の議長を刈田敏副議長が務めた。

未来をつくる 提案・議論

一般質問報告

今回は5人が質問！



議員は町の行政、財政について、執行機関に質問できます。定例会では「一般質問」として、未来をつくるための提案・議論を行います。

議員名に **囲み** のある項目は記事掲載あり。掲載文の文責は各議員にあります。質疑応答の全文は、会議録ができ次第町ホームページで公開します。

教育・子育て

沢内地区小中一貫校の整備場所	普本
沢内地区小中一貫校に関する住民懇談会	普本
沢内地区小中一貫校建設スケジュール	普本
沢内地区小中一貫校進捗に関する周知	普本
小中一貫校の教育内容	普本
保育所(園)の統合の進捗	普本
保育所保育料の無償化	普本
0歳児保育の開始	普本
保育所(園)3歳以上児への主食の提供	普本

まちづくり・地域づくり

北部拠点施設建設への町の支援	普本・ 真嶋
住民や事業者をどう巻き込む	唐仁原
集落支援員を増員する狙い	唐仁原
複合拠点施設整備基本構想・基本計画策定	真嶋

行政

第3次西和賀町総合計画策定と第2次計画の検証	真嶋
------------------------	----

農業・林業

ツキノワグマ出没情報	高橋宏 ・唐仁原
緊急銃猟の取組み	高橋宏 ・唐仁原
猟友会との連携	高橋宏 ・唐仁原
いわての森林づくり県民税の取組み	高橋宏
鳥獣対策専門員 増員の考えは	唐仁原
放任果樹への対応	唐仁原
猟犬とパトロールするなどの対応は	唐仁原

観光

リニューアルされた観光パンフレット	唐仁原
着地型旅行商品・アクティビティの充実	唐仁原
親水施設周辺へのシャワー等の整備	唐仁原
各種観光イベントの位置づけ・実施体制	唐仁原
水没林の活用・P R、環境整備	唐仁原
錦秋湖畔や水没林の利用制限	唐仁原
ニュースリリースサイトの活用	唐仁原
クマの観光への影響	唐仁原
観光客にクマの存在をどう伝える	唐仁原

産業その他

森林・水力・温泉・雪活用に対する町長の考え	唐仁原
-----------------------	-----

保育所(園)統合の進捗は

Q 保育所(園)は湯田地区、沢内地区ともに1園に統合し、令和8年度から各1園の運営体制を開始することになっている。進捗は。



ふもと かおり
普本 歌織

新保育所の供用開始は

A 沢内地区は令和10年以降の見通し

北部地区拠点施設への町の支援は

Q 北部地区拠点施設はどのような施設になる見通しか。また町としての支援のあり方は。

A 北部地区活性化委員会では、地域の活性化のための拠点施設づくりについて、学習会や視察研修等を行っており、町も平成29年度から活動支援に取り組んできた。委員会では北の玄関口としての機能、地理的条件を生かした産直機能、簡易郵便局などの機能を盛り込むことが検討されている。今後地域に寄り添い活動支援に取り組む。

個人の「やりたい」が主体性を生む

Q 町長は2期目の所信表明において、「住民が減っても、町民一人ひとりの生産額稼ぐ力は落とさない、むしろ高めていくことが、暮らしの質を落とさず、向上させていくことにつながる」と述べた。全くその通りだが、行政にできるのはあくまでもサポートであって、実際に現場で働き、稼ぐのは町民自身だ。住民や事業者を奮起させるため、何か考えがあるか。



とうじんばらとしひろ
唐仁原俊博

住民や事業者の奮起が必要だ

A 行政は土台・環境をつくる

けることを期待する。

反問* 住民や事業者がどうあれ、ばいはいか、議員の考えは。

A ポイントが3つあると考える。ひとつは「やらなきゃいけない」ではなく、個人の「やりたい」に立脚し、「やりたいこと」を周りに共有すること。

そして、やりたいことを実際にかたちにすること。いきなりお金をかけるのではなく、自分も周りも無理せずやれる範囲で実現して、小さな成功体験を積み重ねる。

最後が「やりたい人がやる」こと。最初から「みんな」でやる必要はない。やっているうちに周りを巻き込めたり、周りが感化されたりする可能性もある。



お楽しみ会でサンタさんからシャボン玉のプレゼント(新町保育所)

A 町づくりにおいては、住民や事業者の方々の主体的な取組みが基本であり、行政の役割は、住民・事業者の皆様が取組・活躍できる土台づくり、環境づくりにある。住民・事業者の皆様とのやり取りを通じて、その力を引き出すことができる施策の企画立案と実行が肝要だ。各担当課においては、関係する住民・事業者の皆様と日頃より、より良い関係を作るとともに、住民・事業者の皆様にはかわりをよりいっそう持っていただ



やりたいこと、ありますよね？

* 反問

西和賀町議会基本条例には「本会議又は委員会へ出席を要請された町長等は、議員の質問及び提言に対して議長又は委員長長の許可を得て反問することができる」(第6条3)とある。反問は、質問の趣旨、質問の背景、根拠、考え方を問う場合などに行うことができる。



ま じ ま
ま こと
実 嶋 真

Q 複合拠点施設整備の進捗は

A 年度末までに基本計画策定

Q 複合拠点施設の基本構想・基本計画策定にむけた委託事業の進捗状況を伺う。業務委託仕様書にはパブリックコメントの実施や、関係委員会開催にかかる業務も記されているが、業務は工程表どおり進んでいるか。

A パブリックコメントの時期について、現時点では事業者とすり合わせができていない。これから適当な時期を検討する。具体的にどのような委員会にするか、まだ検討に至っていない。今後、委託事業者とともに検討する。本事業は、令和6年度からの繰り越し事業で、まず基本構想を策定し、年度末までには基本計画を策定し完了する。

Q 町民の声を受け止め理解を得るための場は

A 町民や町職員の声、創造的な意見を、計画に取り



「複合拠点整備が検討される大野地区」
(川尻カモシカハイキングコースより撮影)

込み反映することが必要と考えるが、より多くの町民の理解を得るための場を、どのように設置するか。

A 今回の複合拠点施設整備の「基本構想」「基本計画」については、諮問・答申という形式ではなく、あくまで事業者への業務委託である。複合拠点施設単体では、町民の意見を反映するような場を設けてこなかったが、第3次総合計画の策定に向けて実施した住民懇談会等で、この複合拠点施設についても説明し、住民の方からもさまざまな意見をいただいている。



ひろし
たかはし
宏 高橋

Q 猟友会との連携で課題は

A 駆除活動の担い手の確保

Q クマの出没状況が実態より少なくないか

A ツキノワグマの出没情報が実態に比べて少ないのではないかと。

A 人口が少ないことや、目撃に慣れてしまい、通報しないことが理由として考えられる。現在のツキノワグマ目撃情報の提供は、農林課への電話が中心となっている。若手県に対して、全市町村が統一的に利用できるシステム運用の検討をお願いしている。

Q 猟友会との連携の課題は

A 会員数が減少し、高齢化も進んでいるが、不規則かつ危険を伴う活動に協力いただき、町からの依頼にも随時対応いただいている。今後、緊急銃猟のみならず、有害鳥獣駆除活動を継続するには、担い手の確保が課題だ。

Q 県は「いわての森林づくり県民税」を利用した取り組み例として、「クマ等の野生動物の生活圏への出沒抑制のため、移動経路となり得る河川内や出沒が見込まれる学校周辺



有害鳥獣対策講習を受ける猟友会のみなさん

等の樹木の伐採・数の刈り払い等の環境整備の実施」を挙げている。本町での取り組みは。

A この事業は実施主体が市町村となる。刈り払いも行なえるが、土地所有者が承諾し、実施する事業者が確保できれば活用を検討する。

Q 国は財政支援拡充を検討しているが、どのような支援を活用するか町は検討しているか。

A 現段階において詳細な支援内容は示されていないが、本町が従来実施してきた対策の拡充を基本とする。また、クマの出沒に間接的に影響を与えている、シカやイノシシに対する被害防除の取り組みも検討したい。



お つか
きたむら
雄 北村

Q 2期目の内記町長の決意は

A 1期目の成果を伸展、積極的に

Q 内記町政1期目の成果をどう評価するか。2期目の具体的な取り組みは。

A 選任いただけたことは一定の評価を得たものと考えている。第3次総合計画を着実に仕上げ、生活基盤の持続性の確保、基幹産業である農林業、観光業の強化を図る。複合拠点施設の早期運用開始を目指し、地域経済の拡大に資する交流の増大を図り、町全体に良い効果をもたらしたい。人口減少が進む状況にあっても、住民の生活の質の向上に全力で取り組む。

Q 信任を得たとは言え、さらなる町の一体感をなくくみ、地域の融和を図る必要があるのでは。

A さらに一体感醸成は必要だ。公約の実現に努め、信頼を得ていきたい。

Q 令和6年度の一般会計および特別会計はともに黒字決算だが、財政規模に対して償還金の割合を示す実質公債費比率が15・9%と高く、財政力指数は0・14%と県内で最も低い。改善策は。

A 財政健全化は喫緊の課題だ。今定例会でも、減債基金を活用し、補正予算を計上している。これは平成27年度に借入した県自治振興基金の元金2億2300万円を繰上げ償還するものだ。引き続き、公債費を減少させるなどして、持続可能な財政基盤の確立に向けて取り組む。

Q 人口減少とともに税収も減る。さらなる財源不足が予想されることから、既存事業の見直しも含めた対策が必要では。

A 既存事業の精査を含む歳出構造の見直しと歳入確保は不可欠だ。歳出抑制策を総合的に進め、総合計画および中期財政計画に則って、着実に実行して行く。

議会傍聴はどなたでもできます。
途中入退室は自由です。
ぜひ、生の議会を体験してください。

傍聴方法

●傍聴の受付場所 役場3階議場前

①傍聴人受付用紙に名前を記入、受付箱へ投函

②資料を受け取り入場

※入退場自由／傍聴20席程度、車いす2席程度可能



次回の定例会は
2月下旬
の予定です。

正式な日程は、2月上旬に
町ホームページに掲載します。

町内上下水道施設を視察

産業建設常任委員会 所管事務調査 報告

最重要インフラのひとつである上下水道。

あって当たり前で、普段気にすることなく使用しているが、どのように維持管理されているのか。

産業建設常任委員会は「町内上下水道施設の現状と課題の把握」を所管事務調査のテーマに掲げている。

令和7年10月8日、担当課より座学で説明を受けたのち、現地調査を行った。



建設水道課から事業概要の説明を受ける



施設の稼働状況は担当課の事務所など遠隔でも確認できる



細内水源。取水の邪魔になる落ち葉などの除去は欠かせない



水源から引いた水を砂利層を通過させて浄化する中部浄水場



浄化センターは現状において処理能力が過大になっている

上水道事業の現状と課題

上水道事業は何度かの簡易水道統合を経て、平成29年度に7水系からなる西和賀町水道事業に一本化している。

さまざまな対策を講じてきたが、急速な人口減少や節水機器の機能、節水意識の向上などにより、利用料収入は減少傾向だ。今後、施設、管路の更新や耐震化など整備を進める必要もあり、水道料金検討委員会の提言をもとに、令和7年7月に料金改定を行った。

将来にわたり安全で安定した水道供給を維持していくため、中長期的な経営基本計画となる経営戦略の見直し、水道施設や水系の統廃合を含む施設整備構想を策定しようとしている。

下水道事業の現状と課題

西和賀町の汚水処理事業は①特定環境保全公共下水道②農業集落排水③特定地域生活排水処理（合併処理浄化槽）の3つに分かれている。

水道事業と同様に使用料収入は減少傾向にあり、本年度、新たに水道料金等検討委員会委員を委嘱。施設は供用開始から22年経過しており、耐用年数を一部超過している機械、電気設備もある。昨年策定したストックマネジメント計画に沿って、更新整備を行なっていく必要がある。3ヶ所の浄化センターとも、建設当初に見込んでいた処理水量を下回っており、多額の維持コストも課題であるため、施設統廃合について検討を進めている。また、上水道同様、経営戦略の見直しを進める。

視察した施設

当日は10施設を視察した。

① **水源**
細内水源、中部水源

② **浄水場**
湯川浄水場、柳沢浄水場、新町浄水場、中部第一浄水場、中部浄水場、若畑浄水場

③ **下水処理場**
湯田浄化センター、北川舟浄化センター

所管事務調査の今後

担当課からの説明と現地視察を終えたのち、各委員が所感を提出した。今後、委員会内で協議を行い、報告としてまとめる予定になっている。

* **ストックマネジメント計画**
老朽化する施設の状況を客観的に把握・評価し、長期的な予測をしながら、計画的かつ効率的に施設を管理するための計画。

みなさんの声を聞かせてください

～ 議会報告会 ～



昨年度に引き続き議会報告会を開催します。議会の活動を報告するほか、みなさんからのご意見・ご要望をお聞きしたいと考えています。ぜひお越しくださいようご案内いたします。

報告内容

- 視察研修の報告（秋田県五城目町立五城目小学校）
- 議員定数を検討した「議員定数あり方検討委員会」の検討結果の報告
*特に現在12名の「議員定数」について、みなさんのお考えをお聞かせください

日程

- 2月16日(月) 18:00～19:30 高下公民館
- 2月17日(火) 18:00～19:30 沢内庁舎会議室
*オンラインあり
- 2月18日(水) 13:30～15:00 新町公民館
- 2月18日(水) 18:00～19:30 湯の沢公民館
- 2月19日(木) 13:30～15:00 新田郷公民館
- 2月19日(木) 18:00～19:30 湯田庁舎大会議室
*オンラインあり

オンライン参加希望者は下のQRコードからお申込みください。
後日、議会事務局よりメール等で参加方法をお知らせします。



議会広報モニターを募集します！

町民の意見を議会の広報活動に生かし、より一層開かれた議会を目指すため、議会広報モニターが本年度から始動しました。現在のモニターの皆さんの任期が令和8年3月末で終わりますので、改めて新年度4月からの「議会広報モニター」を募集します。

活動内容

西和賀町議会が行う広報活動に関する意見、提案等を述べる。そのために、議会だよりについて広報編集常任委員会が作成するアンケートへの回答（4回）、対面での意見聴取（2回。1月と7月を予定）をお願いします。

募集定員

5人

任期

令和10年3月末まで

募集資格

西和賀町に在住または通勤する満18歳以上の方（現在モニターをされている方の再応募を妨げません）

応募方法

議会事務局に電話かメールでお問い合わせください。所定の様式を郵送・メールなどでお送りします。また、町ホームページから様式をダウンロードすることも可能です。

応募期限

令和8年1月末



議会と議員はなにをしてら？

西和賀町20周年記念式典とシンポジウム 合併20周年から次の20年へ



西和賀町は11月1日に町村合併20周年を迎え、午前
に記念式典、午後には地域ブランド「ユキノチカラ」
10周年を記念して「地方創生と高校魅力化シンポジウ
ム」が銀河ホールで開催されました。町の歩みと地域
の魅力を振り返り、今後の発展に向けた意見交換が行
われました。また、リニューアルした「カタクリンコ
ちゃん」に「西わらびくん」「雪あかりちゃん」も紹
介され、町民の絆と未来への期待が深まりました。

雫石町・西和賀町議会研修・交流会 学びと交流で深まる連携



11月14日、雫石町・西和賀町議会研修・交流会が雫
石役場で開催されました。今回は、地元の県立高校の
魅力化をテーマに、雫石町佐藤教育長による講演が行
われ、県立雫石高校の独自の取り組みや成果、課題に
ついて学びました。西和賀高校の更なる魅力化を目指
す当町にとっても、大変参考となる内容でした。今後
も、学びと交流を通じて地域の未来を拓く活動を続け
ることを確かめ合いました。

にしわが建設会との意見交換会 持続可能な地域づくりのために



10月15日、設立20年目を迎えたにしわが建設会との
意見交換会を開催しました。公共事業の早期発注や地
元企業への優先発注、災害対策やインフラ維持管理の
強化、情報共有の仕組み整備など多岐にわたる課題と
具体策について活発に意見交換しました。さらに、住
民要望への迅速な対応や、町内業者の雇用確保、国や
県の補助金活用、地域の安全と発展に向けた連携強化
なども提案され、今後ともに町に働きかけ、持続可
能な地域づくりに努めることを確認しました。

●主な議会公式行動 R7.9.13~R7.12.9まで

9月	17日 水	議会運営委員会 広報編集常任委員会
	18日 木	総務教民常任委員会所管事務調査（介護施設訪問）
	26日 金	広報編集常任委員会 令和7年度秋の交通安全功労者等表彰式
	29日 月	総務教民常任委員会 立憲民主党市町村要望ヒアリング
10月	30日 火	広報編集常任委員会 自由民主党岩手県支部連合会市町村重点要望調査
	4日 土	金ヶ崎町新町誕生70周年記念式典・記念講演 横手市市制施行20周年記念式典等
	7日 火	宮城県栗原市議会視察研修対応 広報編集常任委員会
	8日 水	産業建設常任委員会所管事務調査（水道施設視察）
11月	14日 火	令和6年度住民の声を聴く会町長報告 町政調査会全体会
	15日 水	総務教民常任委員会 産業建設常任委員会にしわが建設会との意見交換会
	16日 木	西和賀町かわまちづくり上野々地区お披露目式
	17日 金	町営建設工事労働災害防止パトロール
12月	21日 火	議会運営委員会
	29日 水	いわての地域づくり、道づくりを考える大会
	31日 金	町政調査会全体会
	1日 土	西和賀町20周年記念式典
11月	6日 木	議会運営委員会
	7日 金	町村議会広報担当者研修会
	8日 土	新生雫石町70周年記念式典及び祝賀会
	11日 火	宮城県大河原町議会視察研修対応 町村議会議長会政務調査会研修会・ 県選出国会議員との懇談会
12月	12日 水	第69回町村議会議長全国大会・研修会
	14日 金	雫石町・西和賀町議会議員研修交流会
	18日 火	宮城県七ヶ浜町議会視察研修対応
	22日 土	令和7年度西和賀町PTA連合会研修会・ 表彰式兼西和賀町教育振興運動研修会
12月	23日 日	令和7年度西和賀町きらめく女性のつどい
	25日 火	議会運営委員会
	26日 水	産業建設常任委員会
	29日 土	奥州市市制施行20周年記念式典及び祝賀会
12月	30日 日	一般国道107号大石地区道路災害普及事業開通式典・ 祝賀会
	5日 金	議会定例報告会 第17回定例会資料説明会 第3回全員協議会 町政調査会幹事会 広報編集常任委員会

視察受け入れ対応 広報編集常任委員会 広報活動を通じて議会間交流



広報編集常任委員会では、10月7日に宮城県栗原市
議会、11月11日に宮城県大河原町議会、11月18日には
宮城県七ヶ浜町議会の視察研修の対応を行いました。
当町議会の広報活動について説明したのち、お互いの
議会広報制作の取り組み方や、各議会独自の工夫など
を共有し、活発な意見交換を通じて相互に学びを深め
ました。今後の広報活動に生きる有意義な交流となり
ました。



国道107号大石トンネル開通 ただの復旧ではなく利便性向上



大規模な地すべりの影響で、通行止めや仮橋設置に
よる迂回などの措置が続いていた国道107号ですが、
11月30日に大石トンネル開通記念式典が開催され、一
般の方も通行できるようになりました。新トンネルの
開通により、道路の線形が改良され、所要時間も短縮
されます。地域の交通利便性向上のみならず、観光や
産業の振興にも大きく寄与するものと期待されていま
す。

このように 議長交際費をお知らせします

（令和7年9月2日～令和7年12月9日までの内訳）

🎉	お祝い	5件	36,000円
🎵	会費	1件	5,000円
🌸	お悔み （花輪なども含みます）	0件	0円



お二人の出合いは小学生

西和賀町に移住して頑張っている人や生まれてから現在まで西和賀町で暮らす皆さんを紹介します。

ひろがれ!! 西和賀の輪

たかはし さだお ゆみこ
高橋 定雄 さん 妻・夕美子 さん Vol.31
(川舟・ともに77歳)

川舟生まれの定雄さんと新町生まれの夕美子さんの出会いは、小学生の頃。十数年後、お二人は通勤のバスで運命的な再会の末、昭和44年に結婚。定雄さんは、郵電分割に伴いNTT勤務となり、遠くは石巻など18年に及ぶ、単身赴任となりました。その間、自営の美容室、子育て、PTA、地域、婦人会活動等に獅子奮迅の活躍で家庭を守ってこられた夕美子さんです。

問

議会や町に望むことは?

自治会だけでは解決が難しい、独居老人の見守り、空き家の問題。それと冬場の除雪等高齢化が進む地域にとっては、町の指針に期待するところが大きいです。

問

現在取り組んでいることは?

18年余り不在だったこともあり、退職後、できる限り地域活動に努めてきました。納税組合、消防後援会、公民館長、区長など。現在は、自治協議会長、森林組合理事、沢内観光協会事務局長など。徐々に後進に託しながら、写真家として、西和賀の美しい風景、自然、魅力を発信して行くこと。そして20年振りに百滝めぐりに挑んでみたいと思っています。

問

高橋定雄さんといえば「写真」ですが

宮古支店在職中の51歳で始め、本格的に取り組んだのは、53歳早期退職後から。同姓同名も多いことから「高沢翔」の名で活動しました。「西和賀の山野草」撮影時、山菜を見ても私は写真を撮るだけで、妻には「持って帰ってこい」とよく叱られました。2年ほどかかった「いわての百滝」めぐり。撮影は天候に大きく左右されるので、同じ滝に何度も通うこともしばしば。ポストカード化したことで、地元ながら行けなくなった方々に感謝されたこともありました。JA花巻の監事就任が縁で、平成26年から5年余り、「ぼらゝの花巻」に管内各地の写真を掲載しました。最近では自然だけでなく、地域の敬老会等でも撮影しています。



みんなの声

んだっすな!



自然と人材をほこれる町

西和賀町の様子を知ることが出来たことを「クイズ」に答えるって本当に楽しみです。すばらしい自然と人材をほこれる町ですね。
(差出人記載なし)

クイズについて楽しみにしていただいております。励みになります。実は問題を作るのも意外と大変な作業です。私ももっともっと多くの方々に西和賀の自然と魅力を体験してほしいと感じています。皆さんで色々考えていきたいですね。

(刈田敏編集委員)



高齢者にやさしい町に

地域ブランド「ユキノチカラ」読み応えあります。今月号は特に読み応えがありとても参考になりました。表紙の菊池美幸さんの笑顔がGood! 寒くなり電気ガスの補助が出そうですが、北国は灯油の事は話題にならずできれば平等に何れ補助とはできないものですか? 高齢者にやさしい町になりますように

(泉沢 石川房子さん)

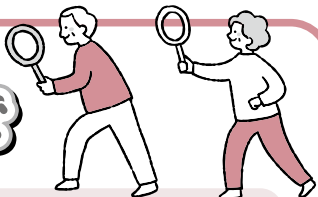
いつもお便りありがとうございます。灯油や燃料の費用は、北国に住む我々にとってはまさに切実です。しかも西和賀は豪雪の町なので、住宅の除雪も大変です。これからも、高齢者が過ごしやすい町になるよう努力してまいります。

(高橋敏樹編集委員)



ほかにも声をお寄せくださった皆さん、ありがとうございました!

紙上クイズ スミからスミまで



問題文 空欄に適切な言葉を入れてご応募ください。当選者には景品を差し上げます!!

- 1 沢内の町立保育所は〇〇〇〇保育所に統合される。(ひらがな4文字)
- 2 今年度は議会報告会を〇月に開催予定。(数字1文字)
- 3 産業建設常任委員会は町内〇〇〇〇施設を視察した。(漢字4文字)

応募方法

はがき、ファックス、WEB (Google フォーム) で、答え、住所、氏名 (ふりがな)、年齢、連絡先をご記入ください。また、①今号で良かった記事 ②取り上げてほしい内容や企画 ③議会に対するご要望、ご意見などあわせてご記入ください。今後の「西和賀町議会だより」の発行にあたり、皆さんの意見を参考にするほか、寄せられた意見を次号に一部掲載します。なお、匿名での受け付けはしません。

前号の答え 1 20 2 ユキ 3 五城目

応募先

- 〒029-5512 西和賀町川尻40-40-71 西和賀町議会事務局「議会だより紙上クイズ」係まで、
- ファックスの場合は0197-82-2171まで、
- Googleフォームの場合は右のQRコードを読み取りご応募ください。



【締め切り】
1月30日消印有効とします。

【No80の当選者の発表】 古澤 邦廣さん(新町)、石川 房子さん(泉沢)、加藤 裕さん(新町) \ おめでとうございます。/



特集してほしいことがありますか?

次号の特集は現在、広報編集常任委員会内で検討中ですが、「こんな特集をして」「こういう課題があるから、取材に来て」など、お気軽にメッセージをください。

ご意見の送付先・送付方法は次ページをご覧ください。

西和賀を最高に 面白い場所にしよう!

未来の
西和賀をつくる
キミにおくじ!
メッセージ!

1967年、小繋沢生まれ。
小学1年時、雪の中に4時間埋もれて
命を失いかけた。
多分120歳まで生きていると思っている。
夏は野球の審判と現役でプレー(4チーム)、
冬は雪合戦の審判で楽しんでいる。
映画『国宝』は見た。

どんな町にしたい?
自然の恵みや農業と観光の
融合で稼ぎ、福祉の充実を図り、
日々の暮らしを守ること、
町民一人ひとりが明るく
元気に過ごせる町

議員に興味があるあなたへ
議員を取り巻く環境などは、
時代と共に変わってきています。
臆することなく立候補して、
一人でも多くの町民の心の声を町に届けて、
より良い町になるよう努めてほしい。

高橋
敏樹
あなたの夢を聞かせてください
ワクワクする未来のために

昼は西和賀商工会の
臨時職員

活動テーマ
町の皆さん一人
ひとりの想いを聞き、
町全体として考えて、
議員としてできることを
やっていきたい。

夜は湯本の居酒屋
「銀河」のマスター

●各号、議員がひとりずつ登場し、皆さんに呼びかけます!

編集後記

こびりっこ

新年明けましておめでとつごい
ます。

みなさんは、十二支をすらすら言
えますか? 私は「ね、うし、とら
う、たつ、み」までは呪文のように
言えるのですが、そのあとが続きま
せん。関係ない動物まで頭に浮かぶ
ことも。どうやったら干支の順番と
読み方を覚えられるか、良い方法が
あれば教えてください。幸いにも、
この編集後記を担当したお陰で「午」
までは言えるようになりました。
十二支といえは、私たち議会議員
も12名。議員の名前と顔は一致して
いますか? 各号の裏表紙に議員が
ひとりずつ登場しています。
皆さんにとって笑顔あふれる一年
でありますように。

広報編集常任委員会

委員 中村 ひとみ

【発行責任者】

議長 高橋 雅一

【議会だよりは広報編集常任委員会
編集しています】

委員長 真嶋 実
副委員長 唐仁原 俊博
委員 普本 歌織
中村 ひとみ
高橋 敏樹
高橋 義彦
刈田 敏

// // // //

マナの未来とともに考える
議会だより にしわが

ナジヨスンベ

No.
81

発行日/令和8年1月15日、年4回発行
編集/岩手県・西和賀町議会広報編集常任委員会
印刷/鶴田印刷株式会社・横手市

発行/岩手県・西和賀町議会
〒029-0021 岩手県西和賀郡川尻40地割40番地71
西和賀町(湯田庁舎) TEL 0197(82)2115 FAX 0197(82)2171

VEGETABLE
OIL INK

議会だよりは、過去に発行した分も含めて西和賀町公式ホームページでご覧いただけます

<https://www.town.nishiwaga.lg.jp>

